

#2

PATENTS

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of

Toshiyuki ISHINO

Serial No. ~~(unknown)~~ 09/989,069

Filed herewith 11/21/01



INFORMATION DISTRIBUTING  
SYSTEM AND INFORMATION  
DISTRIBUTING METHOD

**CLAIM FOR FOREIGN PRIORITY UNDER 35 U.S.C. 119  
AND SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT**

Commissioner of Patents

Washington, D.C. 20231

Sir:

Attached hereto is a certified copy of applicant's corresponding patent application filed in Japan on November 24, 2000, under No. 2000-357240.

Applicant herewith claims the benefit of the priority filing date of the above-identified application for the above-entitled U.S. application under the provisions of 35 U.S.C. 119.

Respectfully submitted,

YOUNG & THOMPSON

By

A handwritten signature in cursive script that reads "Benoit Castel".

Benoit Castel  
Attorney for Applicant  
Registration No. 35,041  
745 South 23rd Street  
Arlington, VA 22202  
Telephone: 703/521-2297

November 21, 2001

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日  
Date of Application:

2000年11月24日

出願番号  
Application Number:

特願2000-357240

出願人  
Applicant(s):

日本電気株式会社

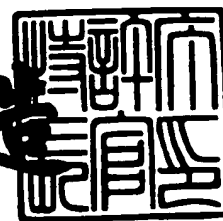
VS  
11000 U.S. PTO  
09/989069  
11/21/01

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年 8月31日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



山証采旦 出証特2001-3078194

【書類名】 特許願

【整理番号】 68501884

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04H 1/00  
G06F 19/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目7番1号  
日本電気株式会社内

【氏名】 石野 俊之

【特許出願人】

【識別番号】 000004237

【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

【識別番号】 100111729

【弁理士】

【氏名又は名称】 佐藤 勝春

【電話番号】 045-904-2723

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 065788

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9905854

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報配信システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 情報提供者が情報を配信したいユーザーの属性から成る前記情報対応の配信情報項目と、ユーザーが自己の属性を IC カードに書き込んだユーザー情報項目とを詳細項目毎に比較して、合致する詳細項目数が最大の配信情報項目対応の前記情報が選択されるようにしたことを特徴とする情報配信システム。

【請求項 2】 情報提供者が提供する情報と、該情報を配信したいユーザーの属性から成る配信情報項目とを格納するためのデータベースを備え、前記情報および該情報対応の前記配信情報項目との複数組から成る情報群を多重化して配信する情報配信者と、

ユーザーの属性から成るユーザー情報項目を記憶した IC カードと、前記配信された情報群を受信し、前記配信情報項目と前記ユーザー情報項目とを詳細項目毎に比較して、合致する詳細項目数が最大の前記配信情報項目対応の情報を選択する情報選択部とを備えたユーザー端末と

から成ることを特徴とする情報配信システム。

【請求項 3】 前記情報配信者は、前記情報群をデジタル放送回線を通じて 1 つの番組放送中に挿入された情報配信時間帯に配信する放送事業者であることを特徴とする請求項 2 に記載の情報配信システム。

【請求項 4】 前記情報は広告であることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 3 のいずれかに記載の情報配信システム。

【請求項 5】 前記ユーザーは選択された情報を用い、通信ネットワークを介して当該情報提供者から更なる情報を得ることができることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 4 のいずれかに記載の情報配信システム。

【請求項 6】 前記ユーザーは選択された情報を用い、通信ネットワークを介して当該情報提供者に商品を発注し、一般物流網を通じて受け取ることができることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 5 のいずれかに記載の情報配信システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

## 【発明の属する技術分野】

本発明は情報配信システム、特に不特定多数のユーザーに一様に配信される情報の中から情報を選択できる情報配信システムに関する。

## 【0002】

## 【従来の技術】

不特定多数のユーザーに対する情報配信方法として、古くからテレビ放送やラジオ放送等が知られている。このような放送では、配信される情報は不特定者に向けて同じ情報を配信しているおり視聴者は情報を選択できない。例えば、現在のTV放送にける広告放送は、ある放送局の番組を見ているときにおいて、広告情報（コマーシャル）が流れている時間帯にはある1つの広告しか放送されておらず、視聴者が広告を選択することはできない。また、広告放送が多重化されたとしても、放送を受信するユーザーがその情報を選択することができないために、ユーザーは必要としない情報を見ることとなるので、本来必要とする情報が埋もれてしまい、広告の効果が薄れてしまう。

## 【0003】

情報の受け手である視聴者が選択的に広告を視聴できるようにした技術が特開平11-17633号公報に記載されている。この広告情報放送方法は、デジタル放送の受信放送波に広告情報がある時には、ICカードに予め登録されている視聴者属性と広告情報に付加されたターゲットIDが照合され、一致する広告情報（アイコン）が選択され、表示される。詳細情報の要求操作があると、リンク情報によって詳細情報が得られるというものである。

## 【0004】

また、特開平9-91358号公報には、送り手が発信する多様な情報の発信先を絞り込む「情報提供装置および方法」が記載されている。この技術は、受け手は広告受信要件、送り手は広告送信要件をそれぞれ配信ホスト計算機に登録しておき、配信ホスト計算機は受け手と送り手の希望がともに満足されるような配信リストを作成し、この配信リストに従って送信広告文を送信するというもので

ある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述した特開平 1 1 - 1 7 6 3 3 号公報に記載の技術では、視聴者が広告を視聴する／しないの選択はできるが、全く広告を視聴しないことも可能となるため、広告主側からみた場合には、広告のメリットが軽減され得るという問題点がある。

【0006】

また、特開平 9 - 9 1 3 5 8 号公報に記載の技術では、受け手端末に格納しているユーザー情報の配信ホスト計算機への登録により、情報の発信先の判別を使用しているため、ユーザーが利用できる端末が固定化され、受け手端末の利用者一人にしか対応できない。従って、マルチユーザーに対応するには、複数のユーザー情報を受け手端末に格納する必要がある、ユーザーが変われば登録をし直す必要があるという問題点がある。

【0007】

そこで、本発明の第 1 の目的は、ユーザーに合わせた情報を確実に配信することができる情報配信システムを提供することにある。

【0008】

また、本発明の第 2 の目的は、ユーザーが利用できる端末をオープンにすると共に、マルチユーザーにも容易に対応できる情報配信システムを提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】

本発明の情報配信システムは、情報提供者が情報を配信したいユーザーの属性から成る情報対応の配信情報項目と、ユーザーが自己の属性を IC カードに書き込んだユーザー情報項目とを詳細項目毎に比較して、一致する詳細項目数が最大の配信情報項目対応の情報が選択されるようにしたことを特徴とする。

【0010】

より詳しくは、本発明の情報配信システムは、情報提供者が提供する情報(図

2 の  $\alpha$ ,  $\beta$ ,  $\gamma$ ) と、該情報を配信したいユーザーの属性から成る配信情報項目 (図 2 の  $\alpha [n]$ ,  $\beta [n]$ ,  $\gamma [n]$ ) とを格納するためのデータベース (図 2 の 2 2) を備え、情報および該情報対応の記配信情報項目との複数組から成る情報群 (図 2 の Z) を多重化して配信する情報配信者 (図 2 の 3 0) と、ユーザーの属性から成るユーザー情報項目 (図 2 の A [n], B [n], C [n]) を記憶した IC カード (図 4 の 1 1 1) と、配信された情報群を受信し、配信情報項目とユーザー情報項目とを詳細項目毎に比較して、最も合致する項目数が多い配信情報項目対応の情報を選択する情報選択部 (図 2 の 1 1 a 等、図 4 のでデジタル放送受信部 1 1 2 相当) とを備えたユーザー端末 (図 2 の 1 1, 1 2, 1 3) とから成ることを特徴とする。

## 【 0 0 1 1 】

本発明では、情報配信者と契約した情報提供者が情報配信者のデータベースに、配信したい情報と配信情報項目とを格納しておく。情報配信者は複数の情報と配信情報項目とを情報群として多重化してユーザー端末に配信する。ユーザー端末側は、ユーザー情報項目を記憶しており、受信した情報群の各配信情報項目と詳細項目毎に比較する。その結果、合致する項目数が最大の配信情報項目対応の情報を選択する。ユーザー情報項目は具体的には IC カードに記憶されるので、IC カードを取り替えれば一つのユーザー端末を複数人で利用できる。また、一人のユーザーが IC カードを他のユーザー端末に装着すればそのユーザー端末を利用することもできる。

## 【 0 0 1 2 】

このように、本発明はユーザー端末では配信情報項目とユーザー情報項目とで合致する詳細項目数が最大の情報が必ず選択される構成としたため、情報配信者がデジタル放送回線で不特定多数のユーザーに対して配信する情報 (広告等) を全く選択しないユーザーを無くしつつ、デジタル放送を受信するユーザー属性に最も合致した有用な情報を各ユーザーに毎に配信することが可能となる。

## 【 0 0 1 3 】

また、ユーザー情報項目を IC カードに記憶させて、どのユーザー端末にも読み込ませることができる構成としたため、ユーザーが利用できるユーザー端末を

広く開放し、マルチユーザーにも容易に対応可能となる。

【0014】

【発明の実施の形態】

本発明の情報配信システムは、情報提供者である広告主等の情報提供者が、デジタル放送を通じ、デジタル情報を受信する不特定多数のユーザーに対して情報を配信し、デジタル情報を受信するユーザーの各端末上に各々のユーザー情報をＩＣカードで保持しておき、そのユーザー情報の内容により、デジタル放送を用いて多重化されて配信される情報を選択可能にしたものである。

【0015】

【実施例】

図１は、本発明の情報配信システムの構成を示す。図１を参照すると、このシステムは、情報提供者３０と放送事業者等の情報配信者２０とユーザー１０とがインターネット等の通信ネットワーク５０を介して相互に接続されており、相互の間で情報の交換をすることができる。情報配信者２０は情報提供者３０から提供された情報をデジタル放送回線６０経由でユーザー１０に配信する。また、情報提供者３０とユーザー１０との間は、物流業者４０および一般物流網７０を介して結ばれ、情報提供者３０はユーザー１０に商品を届けることもできる。

【0016】

図２は、図１に示した情報配信システムにおける情報提供者３０、情報配信者２０およびユーザー１０の詳細を情報の流れに注目して示す。図２において、情報提供者３０として、情報配信者２０と情報配信について契約した広告主 $\alpha$ 、広告主 $\beta$ および広告主 $\gamma$ が例示されている。また、情報配信者２０として、データベース２２を有する放送事業者２１が示されている。データベース２２には、図３に示すように、広告主 $\alpha$ 、広告主 $\beta$ 、広告主 $\gamma$ が配信を行いたい情報 $\alpha$ 、情報 $\beta$ 、情報 $\gamma$ と、これらに対応する配信情報項目 $\alpha[n]$ 、 $\beta[n]$ 、 $\gamma[n]$ を格納する。配信情報項目とは、情報配信者３０が配信したいユーザー属性をいい、地域情報、郵便番号、電話番号、性別、年齢、職業、趣味等から成る。

【0017】

放送事業者２１は、データベースに格納されている情報 $\alpha$ 、情報 $\beta$ 、情報 $\gamma$ と



配信情報項目  $\alpha$  [n] ,  $\beta$  [n] ,  $\gamma$  [n] (これら全ての情報を情報群 Z と称する) とを、デジタル放送の送信設備を用いデジタル放送回線 6 0 を通じて、3 人のユーザー A, B および C (総称してユーザー 1 0 と記す) に一様に配信する。ユーザー A, B, C は、それぞれユーザー端末 1 1 , ユーザー端末 1 2 , ユーザー端末 1 3 を有する。

## 【 0 0 1 8 】

ユーザー端末 1 1 はユーザー A の地域情報、郵便番号、電話番号、性別、年齢、職業、趣味等から成る属性であるユーザー情報項目 A [n] と、情報選択部 1 1 a とを含む。情報選択部 1 1 a は、デジタル放送回線 6 0 を通じて多重化されて配信される情報  $\alpha$  , 情報  $\beta$  , 情報  $\gamma$  および配信情報項目  $\alpha$  [n] ,  $\beta$  [n] ,  $\gamma$  [n] (情報群 Z) により、配信情報項目  $\alpha$  [n] ,  $\beta$  [n] ,  $\gamma$  [n] とユーザ情報項目 A [n] の各詳細項目とを詳細項目毎に比較し、合致する詳細項目数が最大の情報 (図 2 では情報  $\alpha$ ) を選択する。同様にして、情報選択部 1 2 a は情報群 Z により、配信情報項目  $\alpha$  [n] ,  $\beta$  [n] ,  $\gamma$  [n] とユーザ情報項目 B [n] の各詳細項目とを詳細項目毎に比較し、合致する詳細項目数が最大の情報 (図 2 では情報  $\beta$ ) を選択し、情報選択部 1 3 a は情報群 Z により、配信情報項目  $\alpha$  [n] ,  $\beta$  [n] ,  $\gamma$  [n] とユーザ情報項目  $\gamma$  [n] の各詳細項目とを詳細項目毎に比較し、合致する詳細項目数が最大の情報 (図 2 では情報  $\alpha$  および情報  $\beta$ ) を選択する。このように、ユーザー A, B, C は、一様に配信された情報  $\alpha$  , 情報  $\beta$  および情報  $\gamma$  から自己の属性に最も合致した有用な情報を受信することができるようになる。

## 【 0 0 1 9 】

図 4 はユーザー端末 1 1 の詳細を示す。パーソナルコンピュータ 1 1 3 と、デジタル放送回線 6 0 で放送される放送を受信するためのデジタル放送受信部 1 1 2 と、ユーザー情報項目 A [n] を記憶するための情報記憶部が搭載されている IC カード 1 1 1 とから構成されている。図 2 に示した情報選択部 1 1 a はデジタル放送受信部 1 1 2 により実現され、パーソナルコンピュータ 1 1 3 はデジタル放送受信部 1 1 2 を制御する。

## 【 0 0 2 0 】

図 5 は、情報  $\alpha$ 、情報  $\beta$ 、情報  $\gamma$  の配信情報項目  $\alpha [n]$ 、配信情報項目  $\beta [n]$ 、配信情報項目  $\gamma [n]$  の詳細を示す。配信情報項目  $\alpha [n]$  は  $n$  個の詳細項目  $\alpha i$  ( $i = 1 \sim n$ ) から成る。 $\alpha i$  は、具体的には前述のように、情報 A を配信したいユーザーの地域情報、郵便番号、電話番号、性別、年齢、職業、趣味等である。配信情報項目  $\beta [n]$  および配信情報項目  $\gamma [n]$  も同様である。

## 【 0 0 2 1 】

図 6 はユーザー情報項目 A  $[n]$ 、ユーザー情報項目 B  $[n]$ 、ユーザー情報項目 C  $[n]$  の詳細を示す。ユーザー情報項目 A  $[n]$  は  $n$  個の詳細項目  $Ai$  ( $i = 1 \sim n$ ) から成る。 $Ai$  は、具体的には前述のように、ユーザー A の地域情報、郵便番号、電話番号、性別、年齢、職業、趣味等である。ユーザー情報項目 B  $[n]$  およびユーザー情報項目 C  $[n]$  も同様である。

## 【 0 0 2 2 】

次に、本実施例の動作について説明する。

## 【 0 0 2 3 】

まず、広告など情報を配信したい広告主  $\alpha$ 、広告主  $\beta$ 、広告主  $\gamma$  は、情報配信者 20 と契約を交わした上で、配信を行いたい情報  $\alpha$ 、情報  $\beta$ 、情報  $\gamma$  を情報配信者 20 が所有するデータベース 22 に登録する。この登録は、情報提供者 30 が、例えばフロッピーディスクに情報を格納して情報配信者 20 に渡すことにより行なってもよいし、通信ネットワーク 50 経由で書き込むことによって行なってもよい。また、広告主  $\alpha$ 、広告主  $\beta$ 、広告主  $\gamma$  は、登録された情報  $\alpha$ 、情報  $\beta$ 、情報  $\gamma$  の内容により、それぞれ配信情報項目  $\alpha [n]$ 、 $\beta [n]$ 、 $\gamma [n]$  を作成する。

## 【 0 0 2 4 】

次に、データベース 22 にデータベース化された情報  $\alpha$ 、配信情報項目  $\alpha [n]$ 、情報  $\beta$ 、配信情報項目  $\beta [n]$ 、情報  $\gamma$  および配信情報項目  $\gamma [n]$  (情報群 Z) は、放送事業者 21 により、情報 (広告) 配信時間帯に放送される多重化された情報群 Z として、デジタル放送回線 60 を通じてユーザーに配信される。

## 【 0 0 2 5 】

図 7 は、上述の情報群 Z が 1 つの番組放送中の情報 (広告) 配信時間帯に挿入

された様子を示す。図 7 を参照すると、同一の情報（広告）配信時間帯に、情報  $\alpha$  および配信情報項目  $\alpha [n]$  と、情報  $\beta$  および配信情報項目  $\beta [n]$  と、情報  $\gamma$  および配信情報項目  $\gamma [n]$  とが多重化されていることがわかる。

## 【 0 0 2 6 】

一方、ユーザー A はユーザー端末 1 1 にユーザー情報項目 A  $[n]$  を記憶している IC カード 1 1 1 を挿入する。ユーザー B およびユーザー C も同様である。この状態で、デジタル放送受信部 1 1 2 が情報  $\alpha$ 、配信情報項目  $\alpha [n]$ 、情報  $\beta$ 、配信情報項目  $\beta [n]$ 、情報  $\gamma$  および配信情報項目  $\gamma [n]$  から成る情報群 Z が受信される。

## 【 0 0 2 7 】

先ず、ユーザー A について説明すると、ユーザー A のユーザー情報項目 A  $[n]$  と、配信された情報群 Z の各配信情報項目  $\alpha [n]$ 、 $\beta [n]$ 、 $\gamma [n]$  とを比較する。ユーザー情報項目 A  $[n]$  と配信情報項目  $\alpha [n]$  の各詳細項目を比較（A1 と  $\alpha 1$ 、A2 と  $\alpha 2$ 、A3 と  $\alpha 3 \cdots A n$  と  $\alpha n$ ）して合致する数が  $j$  個、ユーザー情報項目 A  $[n]$  と配信情報項目  $\beta [n]$  の各詳細項目を比較（A1 と  $\beta 1$ 、A2 と  $\beta 2$ 、A3 と  $\beta 3 \cdots A n$  と  $\beta n$ ）して合致する数が  $k$  個、ユーザー情報項目 A  $[n]$  と配信情報項目  $\gamma [n]$  の各詳細項目を比較（A1 と  $\gamma 1$ 、A2 と  $\gamma 2$ 、A3 と  $\gamma 3 \cdots A n$  と  $\gamma n$ ）して合致する数が 1 個であり、 $j$  が  $k$ 、1 より大きい（ $j > k, 1$ ）とすると、ユーザー A は図 2 に示すように情報  $\alpha$  を選択する。

## 【 0 0 2 8 】

同様に、ユーザー B について説明すると、ユーザー B のユーザー情報項目 B  $[n]$  と、配信された情報群 Z の各配信情報項目  $\alpha [n]$ 、 $\beta [n]$ 、 $\gamma [n]$  とを比較する。ユーザー情報項目 B  $[n]$  と配信情報項目  $\alpha [n]$  の各詳細項目を比較（B1 と  $\alpha 1$ 、B2 と  $\alpha 2$ 、B3 と  $\alpha 3 \cdots B n$  と  $\alpha n$ ）して合致する数が  $p$  個、ユーザー情報項目 B  $[n]$  と配信情報項目  $\beta [n]$  との各詳細項目を比較（B1 と  $\beta 1$ 、B2 と  $\beta 2$ 、B3 と  $\beta 3 \cdots B n$  と  $\beta n$ ）して合致する数が  $q$  個、ユーザー情報項目 B  $[n]$  と配信情報項目  $\gamma [n]$  との各詳細項目を比較（B1 と  $\gamma 1$ 、B2 と  $\gamma 2$ 、B3 と  $\gamma 3 \cdots B n$  と  $\gamma n$ ）して合致する数が  $r$  個であり、 $q$  が  $p$ 、 $r$  より大きい（ $q > p, r$ ）とすると、ユーザー B は図 2 に示すように情報  $\beta$  を選択する。

## 【 0 0 2 9 】

ユーザー端末におけるユーザー情報項目と配信された情報群Zの各配信情報項目との比較において、各詳細項目数が最大となる情報が複数ある場合には、その複数の情報を選択する。図2に示したユーザー端末13では、情報 $\alpha$ および $\beta$ が選択されているが、これはユーザー情報項目C[n]と配信情報項目 $\alpha$ [n]の各詳細項目が合致する数が、ユーザー情報項目C[n]と配信情報項目 $\beta$ [n]の各詳細項目が合致する数と同じであり、ユーザー情報項目C[n]と配信情報項目 $\gamma$ [n]の各詳細項目が合致する数より多いことによるものである。

## 【 0 0 3 0 】

このように、同一の情報群Zがユーザー端末に配信されても、各ユーザーのユーザー情報項目の内容により情報群Zの中から選択される情報は異なったものとすることができる。

## 【 0 0 3 1 】

また、ユーザーが利用できるユーザー端末は固定化されておらず、例えば、ICカード111をユーザーBまたはユーザーCのとり替えれば、一つのユーザー端末11をユーザーBまたはユーザーCが利用できる。その場合には、ICカード111はユーザーBのユーザー情報項目B[n] ユーザー情報項目C[n]を記憶したものである必要がある。

## 【 0 0 3 2 】

また、ユーザーAはユーザー端末12またはユーザー端末13を利用することによっても、情報群Zから自己の属性に最も合致した有用な情報を取り出すことができる。その場合には、ユーザーAはユーザー情報項目A[n]を書き込んだICカード111をユーザー端末12またはユーザー端末13に読み込ませる。その結果、ユーザー情報項目A[n]の内容が前述のユーザー端末11を利用したときと同一であれば、ユーザー端末12またはユーザー端末13から情報 $\alpha$ を得ることができる。

## 【 0 0 3 3 】

ユーザー情報項目A[n]により、広告主 $\alpha$ の情報 $\alpha$ を選択し、情報 $\alpha$ を得たユーザーAは、通信ネットワーク50に接続されているユーザー端末11から、通

信ネットワーク 50 に接続されている広告主  $\alpha$  に情報  $\alpha$  についての追加情報を通信ネットワーク 50 を通じて得ることができる。また、情報  $\alpha$  が商品情報であるときには、広告主  $\alpha$  に対して通信ネットワーク 50 を通じその商品を発注することなどができる。発注された商品は、広告主  $\alpha$  が物流業者 40 および一般物流網 70 を介してユーザー A に配送することができる。

【 0 0 3 4 】

【発明の効果】

本発明による第 1 の効果は、ユーザー端末では配信情報項目とユーザー情報項目とで合致する詳細項目数が最大の情報が必ず選択される構成としたため、情報配信者がデジタル放送回線で不特定多数のユーザーに対して配信する情報（広告）を全く選択しないユーザーを無くしつつ、デジタル放送を受信するユーザーが得たい情報を各ユーザーに毎に配信することが可能な情報配信システムを提供できるということである。

【 0 0 3 5 】

また、本発明による第 2 の効果は、ユーザー情報項目を IC カードに記憶させてどのユーザー端末にも読み込ませることができる構成としたため、ユーザーが利用できるユーザー端末を広く開放し、マルチユーザーにも容易に対応可能な情報配信システムを提供できるということである。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の情報配信システムの構成図

【図 2】

本発明の情報配信システムの一実施例を示す図

【図 3】

図 2 におけるデータベースに格納された情報と配信情報項目とを示す図

【図 4】

図 2 におけるユーザー端末の詳細図

【図 5】

本発明における配信情報項目の詳細を示す図

【図 6】

本発明におけるユーザー情報項目の詳細を示す図

【図 7】

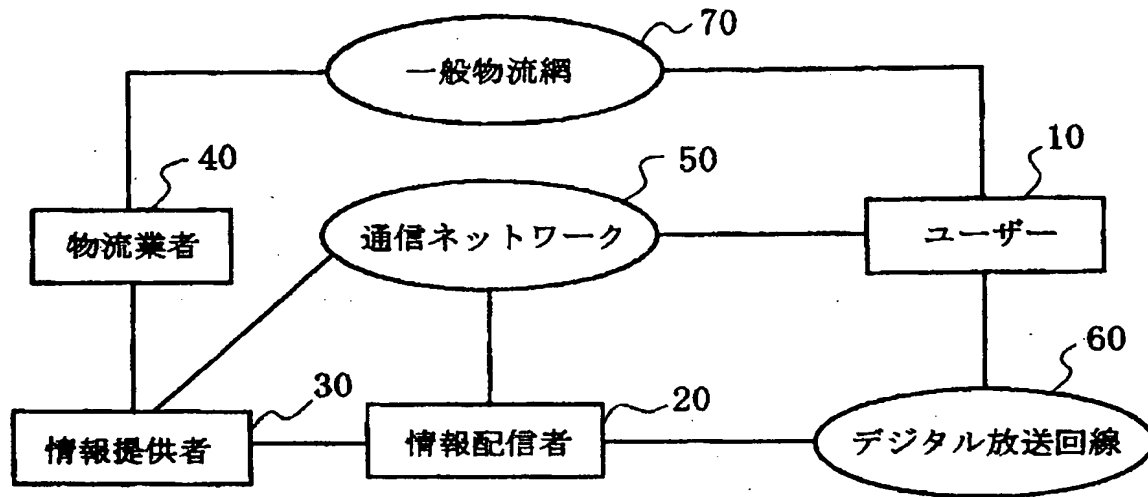
本発明において情報群 Z が 1 つの番組放送中の情報（広告）配信時間帯に挿入された様子を示す図

【符号の説明】

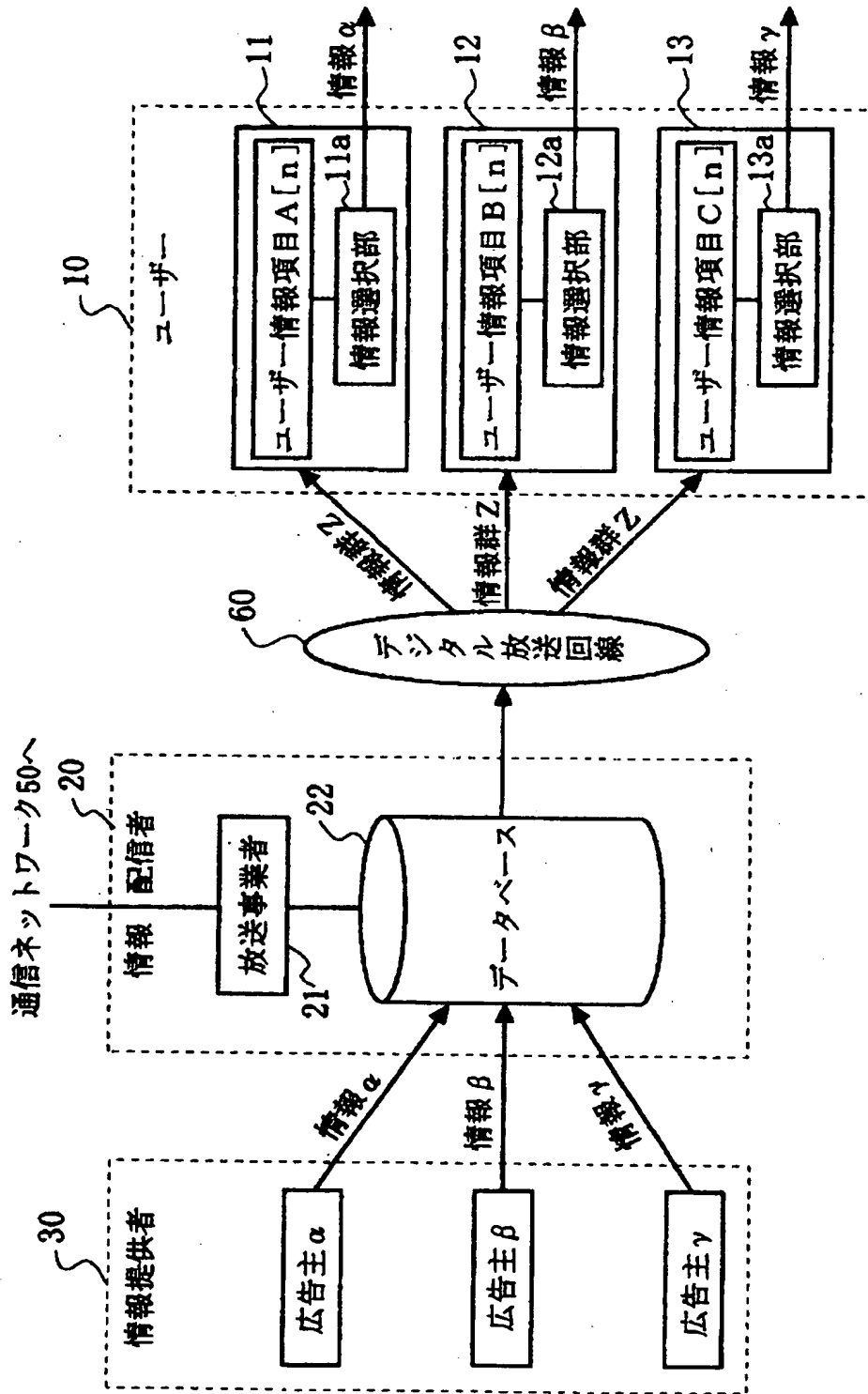
1 0	ユーザー
1 1	ユーザー端末
1 2	ユーザー端末
1 3	ユーザー端末
2 0	情報配信者
2 1	放送事業者
2 2	データベース
3 0	情報提供者
4 0	物流業者
5 0	通信ネットワーク
6 0	デジタル放送回線
7 0	一般物流網
1 1 1	I C カード
1 1 2	デジタル放送受信部
1 1 3	パーソナルコンピュータ
1 1 a	情報選択部
1 2 a	情報選択部
1 3 a	情報選択部

【書類名】 図面

【図1】



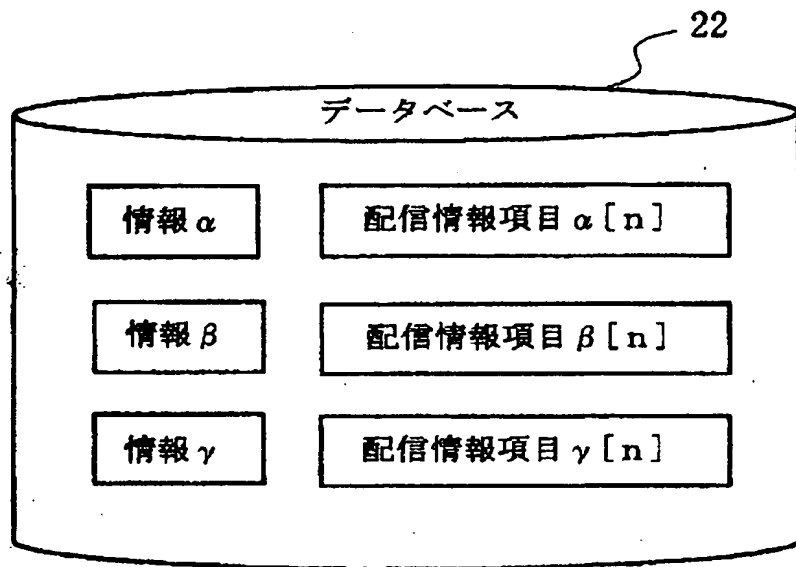
【図2】



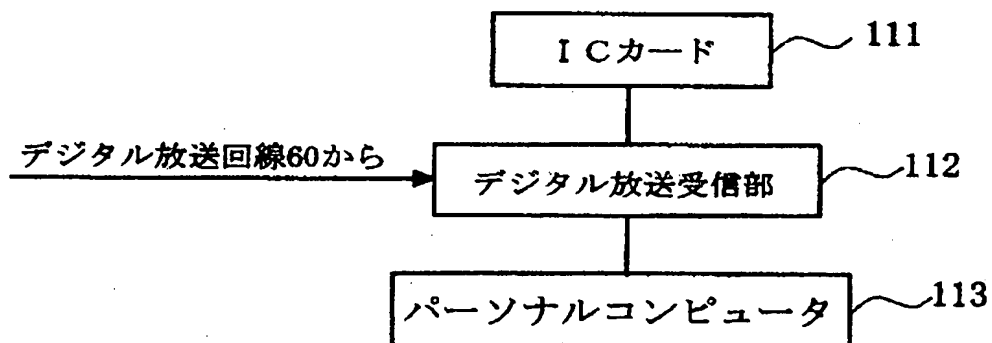
11, 12, 13: ユーザー端末



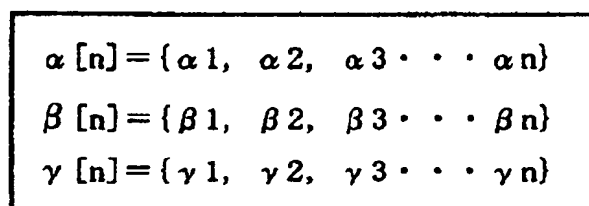
【図 3】



【図 4】



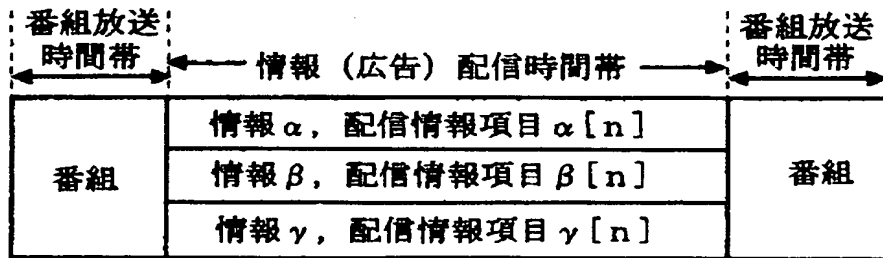
【図 5】



【図 6】

$A[n] = \{A1, A2, A3 \dots An\}$
$B[n] = \{B1, B2, B3 \dots Bn\}$
$C[n] = \{C1, C2, C3 \dots Cn\}$

【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 情報提供者から提供され情報配信者から配信される情報のいずれかがユーザー端末によって選択的に受信され、かつユーザー端末をオープン化する。

【解決手段】 データベース 2 2 は情報提供者 3 0 が提供する情報  $\alpha$ ,  $\beta$ ,  $\gamma$  と、該情報を配信したいユーザーの属性から成る配信情報項目  $\alpha [n]$ ,  $\beta [n]$ ,  $\gamma [n]$  とを格納する。情報配信者 2 0 は、データベース 2 2 を備え、情報  $\alpha$ ,  $\beta$ ,  $\gamma$  および該情報対応の配信情報項目  $\alpha [n]$ ,  $\beta [n]$ ,  $\gamma [n]$  との複数組から成る情報群 Z を多重化して配信する。ユーザー端末 1 1, 1 2, 1 3 は、ユーザー A, B, C の属性から成るユーザー情報項目 A [n], B [n], C [n] を記憶した IC カード（不図示）と情報選択部 1 1 a 等とを備える。情報選択部 1 1 a は、情報群 Z を受信し、配信情報項目とユーザー情報項目とを詳細項目毎に比較して、最も合致する項目数が多い配信情報項目対応の情報を選択する。

【選択図】 図 2

認 定 ・ 付 加 情 報

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 3 5 7 2 4 0
受付番号	5 0 0 0 1 5 1 2 2 8 0
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0 0 9 6
作成日	平成 1 3 年 1 月 9 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】	平成12年11月24日
-------	-------------

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日	1990年 8月29日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名	日本電気株式会社